

東山の森だより

【第10号】

発行：なごや東山の
森づくりの会
発行者：滝川正子
編集：中西たかお
発行月：2008年12月
(年2回発行)

§§ 東山の森から、森づくりを発信し続け、
そして、(仮)生物多様性センター・自然史博物館へつなぐ §§

なごや東山の森づくりの会 代表 滝川 正子

生物多様性条約(CBD)第10回締約国会議(COP10)およびカルタヘナ議定書第5回締約国会議(MOP5)が、2010年に名古屋市で開催されます。CBDは、自然保護や生物の遺伝資源の利用に留まらず、貧困問題、気候変動の緩和・適応、先住民族の権利・伝統的知識、生物資源や生態系サービスの持続可能な利用・利益の公平な分配なども含む広範な条約です。

生物多様性条約 第1条「この条約は、生物の多様性の保全、その構成要素の持続可能な利用及び遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分をこの条約の関係規定に従って実現することを目的とする。」

この条約の目的を達成するためには、多様な主体が多様な形態で参加し、取り組むことが必要です。この条約は特に市民社会の参画を重視しており、私たちにとっても重要な意味を持つ会議となります。

また、国も第3次生物多様性国家戦略は前文でこう述べております。NGOなどの市民団体は、それぞれの地域に固有の生物多様性を保全するためのさまざまな活動の実践や、広く個人の参加を受け入れるためのプログラムの提供や体制づくりが期待されます。また、それぞれが有する専門的な知見や経験を活かし、企業や博物館などを含む教育機関と連携してその取組を支援、促進することも期待されます。すなわち、生物多様性の調査研究、保全や修復のための施策展開にあたって、NGOあるいは市民団体と行政機関との連携、協働は必須のものと述べております。さて、これまでに私たちは2003年に約30団体でなごやの森づくりパートナーシップ連絡会を立ち上げ、森づくりネットワークが軸となり2005年に「名古屋気温測定調査」、2006年に「名古屋の棲息生物調査」、2007年に「名古屋・東山新池ため池調査」を多くの市民、NPO、専門家、行政と協働事業をしてきました。その後も「名古屋の棲息生物調査」は毎年実施され、ため池調査も継続と新たに市内の荒池など8つの池へ調査の拡がりがあります。これらの継承とさらなる飛躍を求めて市の関連機関、大学などとの連携できる恒久施設の(仮)生物多様性センター・自然史博物館の創設を求めて動き始めたところでもあります。



↑ シロマダラ (絶滅が心配なへび)

! 多様な生物を育む東山の森!

↓ クロマダラソテツジミ (迷蝶・熱帯性) ↓



↑ ベニイトトンボ (絶滅危惧種)

環境省レッドリスト【昆虫類レッドリスト(トンボ目) 絶滅危惧Ⅱ類】(2007年版)



協働： なごや東山の森づくりの会 名古屋市 (財)名古屋市みどりの協会

協働組織「なごや東山の森づくりの会」 設立趣意書

東山の森、約410haは動植物園を含む東山公園と平和公園からなる、都市の中に残された貴重な緑の里山です。今でも春にはウグイスが鳴き、夏にはカブトムシが棲む豊かな森ですが、かつてはハッチョウトンボが舞い、キツネが子育てをし、ノウサギが跳ねる、そして人々の暮らしと密接に関わっていた、もっともっと豊かな里山でした。

20世紀、都市化の進展とともに里山は減少し、徐々に荒廃していきました。21世紀を迎えた今、私たちは、これまでの効率性至上の都市づくりやライフスタイルを反省し、森が与えてくれる生命感や安らぎ、さらに、都市の環境改善や防災の機能、エネルギー資源の可能性にも気づかされたのです。

私たち協働組織は、東山の森に棲む多くの生き物とともにあることを大切に、東山動植物園とも連携しながら、市民・NPO・企業・行政の協働による森づくりをおこないます。

そして、この森づくりを通じて、人と自然との共生の視点を育み、次世代を担う子どもたちに貴重な自然環境と森の素晴らしさを伝えていきます。

「なごや東山の森づくりの会」は、平成16年2月に発足して以来、満5年を迎えようとしています。年2回発行の本紙も第10号となります。この節目を迎えるに当たって委員のみなさんに会の原点を見つめ直し、この活動をどのようにして次の世代へ繋いでいくかを意識していただきたく、上記の設立趣意書を掲載しました。

くらしの森再現への動き

◎くらしの森の整備

クレー射撃の練習場として使われていた現在の芝生広場周辺で広範囲に鉛汚染されていることが判明し、その調査分析のため当初予定より大幅に遅れておりますが、新里山の家の建設、ため池や水路の整備による多様な生物を育む水辺の再現など具体的な整備計画が纏められ、具体化されようとしております。



◎活動交流センター(仮称)と多目的広場

旧清風荘跡地及びその周辺で、情報発信や交流の場となるセンターの建設と市民の憩いの場となる多目的広場の整備が具体化しつつあります。ここでは東山新池の水辺への親水域の整備も予定されており、東山の森(410ha)への玄関口に相応しい景観が期待されております。



生物多様性センターの創設提案への動き

◎生物多様性センターを考える有志の会 (東山の森づくりの会をはじめ市民団体・個人など多数参加)

名古屋市にも愛知県にも自然史博物館あるいはそれに類する施設や組織がない。そのために各種機関や市民の研究活動の成果が分散していて生かされていない。生物多様性条約(CBD)・第10回締約国会議(COP10)の開催を控えている名古屋としては、優れた成果を上げている機関・組織や市民の多面的な活動を支え、情報の収集・蓄積、活動交流の場として従来の博物館の枠を超えた生物多様性センター(仮称)の創設を必要とし、提言しております。



定例会

7月6日(日) 9:00～12:00 天候：晴れ／曇

場所：東山公園南部／藤巻町名古屋高速道トンネル上

参加者：71名(内、子ども3名)

内容：7～9月の3ヶ月間は夏時間となっており、暑い午後の作業を避け9時から作業開始で正午終了でしたが、この日も朝から暑くて大変な作業となりました。それでも企業関係のしかも若手の参加者が50名程あって、植樹エリアでの除草やモウソウチクの除伐など随分と作業が捗りました。また作業中にクロアゲハ、タマムシ、カナヘビなど多数観察されました。



8月3日(日) 8:00～10:00 天候：晴れ／猛暑日

場所：平和公園北部／猫が洞池

参加者：27名(内、子ども1名)

猫が洞池でゴミ拾い ⇒

内容：この日は野鳥の会の方の発案で、市内で野鳥の棲息出来る貴重な水辺が、ゴミや放置された釣り糸など荒れ放題になっている処を少し綺麗にしてやりたいということになり、東山森づくりの会、日本野鳥の会愛知県支部、猫が洞公園愛護会、及び東山総合公園管理課の4者協働で総勢100名を越える参加者のもと、主に北側の水辺でゴミ拾いをしました。集まったゴミの量は、45ℓのゴミ袋で216袋ほか粗大ゴミ多数。⇒



9月7日(日) 9:00～12:00 天候：晴れ

場所：東山公園南部／一粒荘跡地及びその周辺

参加者：91名(内、子ども9名)

子どもが活躍 ⇒

企業2社、愛知高校の先生と生徒など多数でした。

内容：一粒荘跡地入り口周辺散策路沿いでの下草刈り、混みあった樹木の除伐、水路の整備、一粒荘跡地に侵入した竹の除伐などを行いました。大勢の参加者で捗りました。



10月5日(日) 10:00～12:00 天候：雨

場所：平和公園南部・中道の中ほど(せせらぎの小道)付近

参加者：64名(内、子ども4名)

内容：「千種区民まつりの日は雨」のジンクスどおりでした。作業は、せせらぎの小道の土手の草刈、雑木林の手入れ、トウチク林の整備など子どもたちの活躍もあって捗りました。降り続く雨のため午前中で作業を終了。



11月2日(日) 10:00～14:40 天候：晴れ

場所：東山公園南部・一粒荘跡地周辺

参加者：51名(内、子ども8名)

内容：前回(9/7)に引き続き一粒荘跡地で、散策路沿いの草刈り、水路に堆積した土砂の除去、雑木林の整備などでした。



12月7日(日) 10:00～14:00 天候：晴れ

場所：平和公園南部・キラニン通り展望広場南西斜面

参加者：32名(内、一般1名)

*子ども森づくり隊隊員T.Mさん、T.Y君が表彰された。

内容：キラニン通りから展望広場へ。南西斜面の混み合った雑木林の手入れ。ヤマザクラ、クロバイ、シャシャンボなどの生育環境の整備を目的に、下草刈り、枯れ木倒木の整理、混みあった低木の間伐などを実施。



明るくなった林床 ⇒

子ども東山の森づくり隊

＝なごや環境大学「共育講座」として実施＝

■ 8月2日(土) 18:00～20:30 天候：晴れ

場 所：平和公園南部 「冒険ナイトハイキング」

参加者：隊員 40名 (保護者等同伴者 43名)



明る過ぎるほどの照明の中での生活が当たり前になっている子どもたちが五感を使って夜の森を体感しようと、いざ出発！！ 懐中電灯は使わないでと云われて、不安げであった子どもたちも次第に慣れてきて動きが活発になる。暗い林の中では「涼し～い！」などと歓声を上げながら、急な下り坂ではへっぴり腰。虫の音を聞きながら、いい体験が出来たかな



■ 11月8日(土) 10:00～14:30 天候：雨／曇り

場 所：平和公園南部 「竹とあそぼう！」

参加者：隊員 32名 (保護者等同伴者 25名)



朝からの雨にも拘わらず子ども森づくり隊隊員とその家族総勢57名の参加を得て竹林の整備に出発。現場に着いて作業の説明に入った頃から雨も上がり、班毎の持ち場で混み合っている竹林で除伐体験。昼食時には豚汁や炒ったシイの実が振舞われ、午後は竹ポックリ、ダイコン鉄砲作りや竹馬乗りなどを楽しみました。



■ 12月7日(日) 10:00～12:00 天候：晴れ

場 所：平和公園南部

参加者：隊員 11名 「！どんぐりの苗木を植えよう！」



2年前(2006年11月)の活動で拾い集めたどんぐりを苗木用のポットに植えて持ち帰って、丹念に育てた苗木を持ち寄ってどんぐり畑へ植えました。育てた苗木はアベマキ、コナラでスタッフの分も含めて55本でした。



↑ ドングリ苗木の植樹

班活動紹介

☆平和公園里山班

毎月 第2、第4日曜日 活動エリア：平和公園南部

どんぐり畑で除草などの手入れと、落ち葉などを集積して有機肥料づくりを始めました。また、ハンノキ湿地入り口左側にモウソウチクの竹林があり、思ったより広い面積で他の樹木と混在している場所を竹林として整備して行くことになりました。

リヤカーで現場へ ⇒



☆東山南部里山班

毎月 第4土曜日 活動エリア：東山公園南部

苗場(名古屋高速換気塔の南西側)、東山テニスセンター南部の天白溪では湿地の手入れ、倒木整理、間伐など、また藤巻町地内名古屋高速道トンネル上の植樹エリアでは除草などの作業を行っています。 班員募集中！！



☆ハンノキくらぶ

毎月 第3木曜日 活動エリア：平和公園南部の竹林

今年度から活動のエリアをハンノキ湿地への入り口西側のハチク林で、荒れ放題で藪化したところを整備し、美しい竹林に育てようと活動しています。現在は、竹林全体の日当たりを良くするために南面の雑木林での間伐・除伐とそこへ進入している竹の除伐などの作業を行っています。

！平和公園の多種多様な竹林を美しく活かしていきたい！



☆広報班

毎月 第2水曜日 18:30～ 里山の家



「なごや東山の森づくりの会」の活動が広く社会に認知されるには、どのような手段があるのか。あるいは周辺住民への働きかけはどうあるべきか。あれこれ議論沸騰しています。また広報だけではなく、会の組織や人材確保など当会全般のあるべき姿を視野に入れた幅の広い議論もしており、森づくりへの思いを自由闊達に語り合う場として会員のみなさんの参加をお待ちしております。都合の良い時だけの参加でも構いませんので是非お出かけください。

東山新池ため池追跡調査

6月13日(金)～15日(日)昨年実施しました「かいぼり」の後の継続調査の一環として棲息生物の確認調査が行われました。その結果、カメ類はクサガメ、イシガメの在来種に加えてアカミミガメも確認されていますがその数は減ってきているとの報告がされております。魚類についてはメダカの確認数が昨年より増えており、一方でブルーギルは全く確認されず在来魚は確実に回復しているとのことでした。その他水辺の草地ではトンボ、ヘビ、カエルなど多様な生物が確認されております。



名古屋の棲息生物調査2008 (灯火採集)

7月5日(土)、8月2日(土) 19時00分～23時00分
調査場所：平和公園南部、東山新池、東山公園南部の3箇所
一昨年は5箇所、昨年は6箇所で行いましたが、今年は上記の3箇所での実施となりました。まだ調査結果の纏めが出来ておりませんが、これによって東山の森における生息生物の実態の一部が見えてくるのではないかと期待されます。



団体紹介 (当会が参加している団体)

☆なごやの森づくりパートナーシップ連絡会



森の育成や緑のまちづくりなどの活動に取り組む29の団体が加盟しています。連絡会では、定例会やフィールド訪問(研修会)、関係行政機関とのパートナーシップ事業などを通して、加盟団体相互の情報交流を行い、課題の共有化や活動の活性化を進めています。

- ・定例会： 偶数月の第2金曜日
鶴舞公園緑化センター2F 講習室 18:30～21:00
- ・問い合わせ：(財)名古屋市みどりの協会普及部協働課
電話：052-731-8590 fax：052-731-0201



☆愛知雑木林連絡会

愛知県内で雑木林などの保全、活用にかかわる実践活動を行っている組織や団体などが連携し、それぞれの活動を発展させるために有効なネットワーク活動を行う。

- ・現在 22 団体が加盟。情報交換、人的交流、合同活動の企画実施
- ・愛知雑木林会議を主催。
- ・問い合わせ： NPO 法人 犬山里山学研究所 TEL&FAX：0568-65-2300

第2回愛知雑木林会議



トヨタの森で「樹林気功」をテーマにしたフィールドワークと交流会

森の表情



Ⅰ ひょうたんからコマⅠ

松山 浩之

名古屋千種に住み約二十数年、東山の森に迷い込んだのは二年前の晩秋だった。メタボ解消の目的で平和公園一万歩コースのウォーキングで、里山の耕作地の方と出会い瓢箪を頂いたのがこの森との関わりのスタート。耕作者によると東山の一部は戦時中より耕され樹木もそれなりに間伐され、周りの人々の胃袋と心を満たし里山の形態を維持していました。現在は耕作地の順次の返還、名古屋市緑のまちづくり条例のスタート、名古屋市みどりの協定に基づく環境維持活動中のなごや東山の森づくりの会との協働で手入れをしています。木、花、草の成長と衰退を間近にし、六十過ぎまで自然とは全く縁の無い生活環境で次々と現れる



聞きなれない言葉に話がチンプンカンプンでやっと最近、なんとなく分かりつつある状態です。東山の森の再生計画の中で生物多様性や里山再生に大いに期待と努力をしたいところです。ちなみに里山の里は大自然に対し人の住むところを指し、山は森(林)のことだそうです。昔話の山に柴刈りに・・・は森(林)に柴刈りに・・・の意味だそうです。この先、〔ひょうたんからコマ〕のメンバーが増えることを期待しています。



運営委員会

☆開催日時：毎月第3木曜日 18:30～20:55 場所：千種スポーツセンター第一会議室

会議参加者：役員、運営委員、名古屋市、(財)名古屋市みどりの協会、その他議題関係者など。

議題：森づくり定例会、班活動、主催事業などの企画と結果報告。各種協賛事業、受託事業の実施計画と結果報告。

各種団体のフィールド訪問などの受け入れの検討。里山の家の管理運営に係わる事案の協議。協働の関係にある名古屋市の関係部署、(財)名古屋市みどりの協会との意見交換など。

→ 運営委員会は、会員のみなさんの自由な発言の場です。

森づくりへの思いを伝える場としてご参加ください。



今後の活動予定

☆定例会：毎月第1日曜日

1月4日 東山公園南部	3月1日 東山公園南部	5月3日 東山公園南部
2月1日 平和公園南部	4月5日 平和公園南部	6月7日 平和公園南部

集合場所、時間など詳細につきましては、その都度事前にメールなどで連絡致します。

下記ホームページでも案内しており、みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

☆子ども東山の森づくり隊

2月1日(日) 10:00～14:30 「雑木林であそぼう」 平和公園南部

5月9日(土) 10:00～14:30 「冒険ハイキング」 東山公園南部



紹介

☆ホームページをご利用ください！！

当会の活動を紹介するホームページです。

定例活動の様子、子ども森づくり隊の案内、結果の報告、班活動や各種イベントの紹介森の中で観察された花や鳥の紹介などなど内容豊富です。是非アクセスしてみてください

(URL) <http://www.higashiyama-mori.sakura.ne.jp/>



会員数：12月10日現在 155名 個人150名 企業5社



会員募集

人と自然のいのち輝く森

「東山の森づくり」に参加しませんか！！

年会費：2,000円 (企業：10,000円/1口以上)

入会申込・問合せ：〔連絡幹事〕鬼頭 保

Tel/Fax: 052-751-9510

e-mail: kito022445@mediacat.ne.jp

編集後記

COP10の開催を控えて小中学校の総合学習、企業のCSRなど東山の森への関心度が高くなり、この半年間で行われた事業が山ほどありますが、全てを紹介出来ないのが残念です。

投稿歓迎⇒ 中西たかお Tel/Fax: 052-781-7530
e-mail: ntakao33@titan.ocn.ne.jp